

【学校教育目標】～自信と誇りを持って行動できる生徒の育成～

進んで学ぶ生徒 思いやりのある生徒 心身ともにたくましい生徒



玉中だより No.11

令和4年12月23日 文責：校長 山崎 則枝

一陽来復

2学期が始まった9月はあんなにも暑かったのに、終業式を迎えた今日は冷たい北風が吹く季節に……。これだけでも2学期の長さを物語っています。

昨日は冬至でした。冬至は天文学的に一年で一番昼間が短く、夜が長くなる日であることは中学生のみなさんは知っていると思いますが、冬至は別名『一陽来復（いちようらいふく）』と言われています。夜を“陰”、昼を“陽”と考え、冬至を境に昼（陽）が長くなることから、昔から「寒さ（陰）が極まる冬至の後は、春（良き事柄）が巡る」とか、「冬至は、この日を境に御運が復活して芽吹き、良い運が巡る起点」とされてきたのです。

それが転じて、『一陽来復』は「良くない事柄が続いた後にこそ、良い事柄が巡る」という意味で使われるようになりました。

終業式である今日は、2学期から3学期への起点と考えてもよいでしょう（決して2学期が“陰”だったわけではありませんが……）。2学期は、様々な学校行事があり、その中でそれぞれの学年に応じた成長がありました。特に3年生は自分の進路選択に悩み、自分を見つめ、自ら決断をする学期でした。2年生は修学旅行という一大イベントを成功させ、玉中の中心となるための力を付けてきました。1年生は一人一人の秘めた力を結集して各行事に取り組み、行事を終えるたびに中学生らしい顔つきになってきました。

玉中生がさらに向上するために、今日を起点にそれぞれの課題や新たな目標に、新しい今日に向かって前進あるのみです。

3学期そして2023年に良い運が巡ってきますように……。

今年も2学期の最後は、宮澤章二さんの詩を紹介します。



新しい今日を

消えてしまったものが たくさんある

これからやって来るものも たくさんある

消えてしまったものが なつかしいときは

しばらく うしろを振り向けばよい

けれど 振り向いてばかりいるのは愚かだ

うしろは見えても 前の風景が見えない

私たちの人生は つねに 前方にある

前方にあるからこそ 人生はつねに新しい

これからやって来るものは たくさんある

数えきれないほどのものが私たちを呼ぶ

無数の未知なるものとの出会い を求め

つねに「新しい今日」を充実させていこう

輝く☆玉中生!

昨年に引き続き、3学期に比
企地区発表会に出場します

【玉川班読書感想文コンクール】

入選 1年 小峰 真優
2年 村田 美月
3年 市川 慶



【玉川班児童生徒理科研究発表会】

最優秀賞 2年 杉田 悠仁



【全国書画展覧会(書の部)】

金賞 1年 伊藤 美和 奥田 琴美
金子 結愛 小輪瀬桃花
櫻井 玲音 廣田葵佳里
2年 小澤 彩乃 関口 旺汰
福士 来実
3年 岸 希美

【本庄第一高校主催中学生作品コンクール】

特選 3年 岸 希美



主な3学期の予定



10(火) 始業式
11(水) 給食開始
13(金) 入学説明会
17(火) 1・2年実力テスト
20(金) 英語検定
22(日) 3年:私立入試中心日
25(水) 2年:地域学習
27(金) 学校公開日



1(水) 避難訓練
9(木) 公立入試出願
14(火) 3年期末テスト
15(水) 学校運営協議会
22(水) 公立入試学力検査
24(金) 公立入試面接実技
27・28(月・火) 1・2年学年末テスト



2(木) 3年生を送る会
3(金) 公立入試入学候補者発表
15(水) 卒業式
17(金) 授業参観・学級懇談会
24(金) 修了式

2年生の修学旅行までは順調に進んできたにも関わらず、最後の最後になって1年生が学年閉鎖となってしまいました。部活動の停止等で感染対策をしておりましたが、感染が拡大傾向になり、やむなく学年閉鎖の措置をとらせていただきました。

とはいえ、保護者の皆様に日頃から感染拡大防止に努めていただいたお陰で、2学期の学校行事等は予定どおり実施することができました。学年閉鎖中もオンライン授業への参加等、ご家庭でのご協力に感謝いたします。

2学期そして2022年も大変にお世話になりました。

2023年が、生徒にとっても玉川中学校にとっても、また、保護者、地域の皆様にとっても最良の年になるよう努力してまいります。

今年も何かと制約のある年末年始ではありますが、季節の節目を感じ、年末年始ならではの行事や地域の文化に触れる機会にもしてほしいと思います。2023年もどうぞよろしくお願いいたします。

